

令和2年度後期始業式(令和2年10月5日)「式辞」

校長 下雅意 一之

みなさん、おはようございます。

前期終業式で伝えましたが、10月1日、仲秋の名月をながめましたか？

夜空を見上げた人はどれくらいいますか？ 綺麗なお月さんでしたが…。どのような思いでながめましたか？ また、聞かせてください。(ちなみに、10月2日の方が実際には満月だったそうです。10月には、もう一度満月があるそうで、ひと月に2回は珍しいことだそうです。)

秋季休業をはさみ、今日から後期が始まりました。全学年そろっての始業式が迎えられるてよかったです。季節も秋の深まりとともに過ごしやすくなりました。「読書の秋・食欲の秋・スポーツの秋…」と、「何々の秋」と言われますが、何をするのによい季節になりました。後期スローガンを「トライ(TRY)！」としました。みなさんには前期から伝えているとおり「なりたい自分」に近づくように、ぜひともチャレンジしてほしいものです。

さて、その「なりたい自分」をめざすために、今日はみなさんに「目的」と「目標」の違いについて話をします。「目的は何？」とか「目標を持って!」と、ふだんあまり意味の違いを考えないでつかっているように思いますが、みなさんは、この言葉の意味の違いがわかりますか？「目的」とは、「的(まと)」とあるから、まっすぐ真正面に据えてめざすべきものだと思います。「目標」とは、「標(しるべ)」とあることから、「的(まと)」に向かって、どういう方法で、また、どのような道順(みちじゅん)・手順(てじゅん)で進むかを示した「目印(めじるし)」のようなものだと思います。

『ロッククライミング』で例えると、「登りきって最高点に立つこと」が「目的」。

選手は、頂点まで石の出っ張り、角度やつかみやすさなどの難易を総合的に判断し、次につかむ石(ターゲット)を決めて攻略していきます。石がそのときそのときの目標となり、その石に体をふって飛びついたり、しがみついたりしながら、アタック(アプローチ)を繰り返して頂点制覇をめざしていきます。頂点に立つ「目的」に向かって、これら手段も含めての「行動」すべてが「目標」の部分にあてはまるものだと思います。

オリンピック選手の場合でも「オリンピックに出場(メダル…)する」ことが「目的」で、その達成のために血のにじむような練習を重ねていますね。「〇〇大会は調整段階」「次の〇〇大会に照準」「〇〇難度・〇〇標準記録をクリア」「次回〇〇の記録狙い代表になる」というように、選手たちが自らの課題について語り、懸命に練習にうちこみ目標をクリアしていく様子をテレビなどで見たことがあると思います。

みなさんも同じチャレンジャーです。一人一人に本校で学ぶに至った「目的」が必ずあるはず。「将来自立のため・就労のため・進学のため…等々」とありますね。

その実現に向けて、今何をすべきかを常に考えることができて、実行が伴う生徒をめざしてください。すべきことの優先順位をつけて、「わかったこと」「できたこと」をどんどん増やしていってください。その積み重ねがきっと目的達成につながっていくものと信じています。3年生はあと半年、2年生は1年半、1年生は2年半、ウィズコロナにあっても目的を果たすために、目標を見失わないようにしてください。以上、式辞とします。